

K N O
 小野澤繁雄
 布宮 慈子
 河村 郁子

まつさらな雪の原なり「サルド」とふ古里ことば懐かしきかな	12月15日	N
やうやつと黄葉なしたる公孫樹散り敷く域に妖怪気分	12月18日	K
なでしこのひらがなやさし点々とまだ青草を揺らし冬風	12月19日	O
山形に花の色なし雪の日を南天の実のあざやかにあり	12月27日	N
東京の年末寒波のからつ風に大根葉さやぐ区民農園	12月30日	K
十二番までの家庭菜園青物の残る幾番あとの片づき	12月31日	O

2019年

七草粥ならねど芹のお粥さん食べたうちは一日早く	1月6日	N
低血糖に倒れし姉に付き添ふる救急車より降りる 山茶花を見つ	1月10日	K
山茶花と椿の違いしりしより紅の花みるにそのこと	1月14日	O
夏のころ枯れたやうなる山野草レウイシアの花カラフルに咲く	1月19日	N
庭ぬちの紅梅の蕾に色さして春の隣りが確かなりぬる	1月24日	K
梅が枝にたったのひとつ花みしは花かとそれを危ぶみもする	1月26日	O
大寒に雨など降つてよいものか六十四の誕生日来つ	1月28日	N
気にかかる去年よりつづく冬早きさらぎやよひに大雪あらむ	1月30日	K
鷺にしもいつもの場所はあるものか川の真中に立ちいるひとつ	2月1日	O
立春といへど羽州の山形の明るき春の光におどろく	2月4日	N
立春にさ庭の紅梅五りん咲き蕾あまたにはち切れむばかり	2月7日	K
大台に仕分けられゆく荷の幾つ荷の多き世にわれら住むかな	2月8日	O



引つ越して七年たてばこまごまと物は増えゆく断捨離せねば	2月13日	N
終活と身辺雑物手 ^{ざぶもつ} に取れど見つむるのみに断捨離能わず	2月15日	K
若者ら飯山駅でみな降りて棚の荷もみな消えてしまいぬ	2月17日	O
山形の赤根はうれん草うましガシガシ削りたる鰹節	2月22日	N
根の赤い鳳蓮草を懐かしみ野菜工場産のサラダ食む	2月28日	K
ゴーヤチャンプルーをなつかしい味という二人ある方がいい懐かしい味	3月1日	O
懐かしき郵便局に置かれたるハズキルーペを掛けて外して	3月6日	N
姉上の遺品みつめて懐かしみ八十余年の歳月甦 ^か す	3月7日	K
遠くから園に歩きにくる人は動作おおきく歩く人なり	3月9日	O